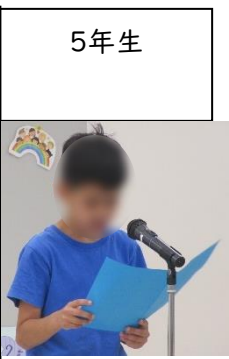
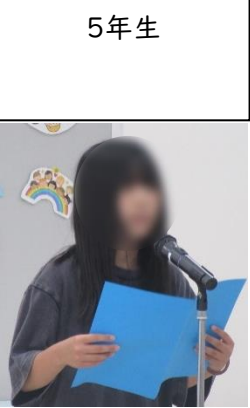


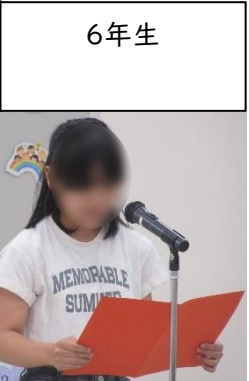
『平和にするために』
戦争のときに、日本が勝っているといううそをついて、それを信じた人たちがたくさん死んでしまったから、そんなうそをつかなくてよかったと思いましたが、沖縄戦のなかで、自分自身も戦った人がいたのが、なかで自分自身も戦った人かと思いましたが、本当のことをわがずと言っていたら、自分もなかつたかもしれな
いと思いました。
平和をつくるために、ぼくは自分のまわりから始めるために、いじめをしていたら声をかけて「やめや」と言って、いじめをへらすことができれば、平和をつづけられると思います。



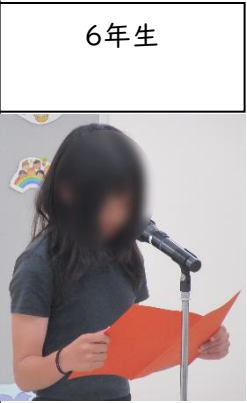
『平和学習をして』
「かんからさんしん」という沖縄戦の映画を見て、戦争ってこわいな、いやだなと思いました。戦争のことを私は、いやだと思っています。理由は、戦争に意味があるのになって平和学習をするたびに思うからです。戦争は、人を殺しているだけで何の意味もありません。平和を作るためには、平和への意見を高めることと、差別や偏見をなくすることが大切だと思います。自分のできることは、まず自分のまわりを平和にすること。そのために差別、いじめをなくすことだと思います。



私は、六年生になって権利を学び、これまでやってきた戦争の話の中で権利を守られていない子どもたちがたくさんいることを知りました。
「火垂るの墓」では、四人家族で幸せだったけど戦争でお父さん、お母さん、妹の節子が亡くなり、そのあと、お兄ちゃんが亡くなりました。私は、「火垂るの墓」を見て、戦争は人の幸せをうばっていくものだと思います。今でも、戦争が他の国でおこっているけど、私は他の国であつても戦争はしてほしくないと思いました。戦争はこれから完全になくなることはないと思うけど、自分たちが戦争や平和についてもっと学び、これからにつないでいけたらいいと思います。



「火垂るの墓」を見て、もつと「戦争がこわいな」、「あかん」、「いややな」と思いました。「火垂るの墓」を見ていて家族を思い出してこわいし絶対にいやだなと思いました。食べる物がなくなつて節子の体が弱くなり、清太がいっしょうけんめい食べる物をさがしていたのが素敵だと思いました。
清太と節子を家にとまらせてあげていたおばさんが最初はやさしいと思つたけど、物をお米にしたときに「えっ」と思いました。なぜかという、清太たちのお母さんの物をお米にしているのに清太たちの物じやないと思つていたのが「それはちよつとあかん」と思つたからです。みんな戦争で食べ物がないのは分かつていたけど、かわいそうだと思つていました。清太が最後までがんばつてほしかったのがすごいなと思つていました。戦争がなくなつてほしいと思つていました。なぜなら、土地を取り合
うぐらいならみんなが平和の方がいいと思つたからです。戦争は二度とやつてほしくないと思つていました。



7月・8月の予定

月	日	曜	行事
7	17	木	5年臨海学舎 給食終了 大掃除(14:00最終下校)
	18	金	5年臨海学舎 終業式(10:30最終下校)
	22	火	学習会①(9:00~10:15)
	24	木	学習会②(9:00~10:15)
	25	金	学習会③(9:00~10:15)
	31	木	オリニマダン
8	25	月	始業式(10:30 最終下校)
	26	火	3時間授業(11:20 最終下校) 水泳学習⑤(低)
	27	水	3時間授業 芸術鑑賞会(11:20 最終下校)
	28	木	3時間授業 ダンス鑑賞会(11:20 最終下校)
	29	金	3時間授業 5年非行防止教室 2・3年二測定(11:20 最終下校)

※8月13日～15日は学校閉校日となります。
※9月1日から給食が始まります。



桂小のえがおの木
児童会から始まった、「桂小のえがおの木」のとりくみを紹介します。
桂小をもっと楽しい学校にするために、みんなの「友だちにしてみらつてうれしかったこと」、「がんばれたこと」、「できてうれしかったこと」、など笑顔になれたことを書いて貼りました。今年は木の名前をみんなから募集して、「えがおの木」に決まりました。葉っぱの形がハートなのは、「桂(カツラ)」という木の葉っぱの形を参考にしました。一学期で五十枚集めるのを目標にしましたが、現在五十八枚も貼ってくれています。二学期もみんなが笑顔で過ごせる桂小にしていきたいです。